

地域の農業を見て・知って・活かすDB

～農林業センサスを中心とした総合データベース～

分析事例作成方法



ここでは【分析事例10】耕種農家と畜産農家の状況の作成方法を紹介します。

使用するデータ一覧

表名（ファイル名称）	年次	利用項目（対象列）	掲載場所
販売目的の稲・麦・雑穀の作物別作付 経営体数と作付面積	2020	販売目的の飼料用稲の作 付面積（O列）	問い合わせ先（P 5 参 照）まで照会ください
都道府県別の堆肥供給者リスト掲載先 一覧等（出典:農林水産省畜産局畜産 振興課）	2020	たい肥供給者の住所	都道府県別の堆肥供給者 リスト掲載先一覧
〇〇県農業集落境界 (MA0001_2020_2020_〇〇.zip)	2020	農業集落境界	農業集落境界データ
〇〇県市区町村境界 (MA0003_2020_2020_〇〇.zip)	2020	市区町村境界	農業集落境界データ

データのダウンロード方法

堆肥供給者のデータは農林水産省畜産局のホームページから
都道府県別の堆肥供給者リスト掲載先一覧のPDFを開きます。



家畜排せつ物に由来する堆肥の有効利用について

家畜排せつ物を適切に堆肥化し、農地に還元することは、家畜排せつ物処理に
用量の低減に資するなど、持続的な農業生産を図る上で特に重要であること
生産・流通を促進し、有効利用していく必要があります。

都道府県別の堆肥供給者リスト掲載先一覧

各都道府県では、堆肥を供給できる畜産農家の情報をまとめ、供給者リストと
詳しくはこちら(PDF: 140KB) [PDF](#)

目的の県のURLをクリックし、堆
肥供給者の住所一覧を作成します。

地図に取り込むデータの作成

- 1 取得した住所から緯度・経度を取得します。（画像は緯度・経度変換のイメージです。）
ファイル名は「たい肥等供給者一覧.xlsx」で保存します。

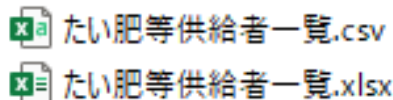
県番号	団体名	住所	緯度	経度
1	北海道農政事務所	札幌市中央区南22条西6丁目2-22		
4	東北農政局	仙台市青葉区本町3-3-1		
11	関東農政局	さいたま市中央区新都心2-1		
13	農林水産省	東京都千代田区霞が関1-2-1		
17	北陸農政局	金沢市広坂2-2-60		
23	東海農政局	名古屋市中区三の丸1-2-2		
26	近畿農政局	京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町		
33	中国四国農政局	岡山市北区下石井1-4-1		
43	九州農政局	熊本市西区春日2-10-1		
47	沖縄総合事務局	沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号		



県番号	団体名	住所	緯度	経度
1	北海道農政事務所	札幌市中央区南22条西6丁目2-22	43.06432	141.3469
4	東北農政局	仙台市青葉区本町3-3-1	40.72788	141.2579
11	関東農政局	さいたま市中央区新都心2-1	33.06967	130.5637
13	農林水産省	東京都千代田区霞が関1-2-1	35.67364	139.7515
17	北陸農政局	金沢市広坂2-2-60	43.09078	141.341
23	東海農政局	名古屋市中区三の丸1-2-2	36.47293	140.5662
26	近畿農政局	京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	35.08068	135.1605
33	中国四国農政局	岡山市北区下石井1-4-1	38.08044	139.9858
43	九州農政局	熊本市西区春日2-10-1	31.98099	130.9976
47	沖縄総合事務局	沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号	26.3342	127.8056

※緯度・経度の変換は様々な方法で行うことができます。上記作業は国土地理院提供の「地理院マップシート」を使用
し行いました。(URL: <https://www.gsi.go.jp/REPORT/TECHNICAL/gsiriyogijutsu5.htm#tizu5>)
ご利用にあたっては、リンク先にある利用約款等をご確認ください。

- [illegible]



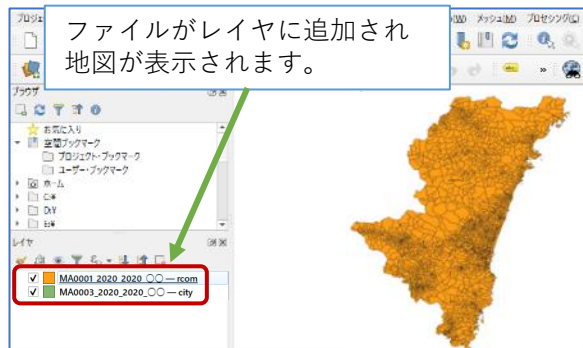
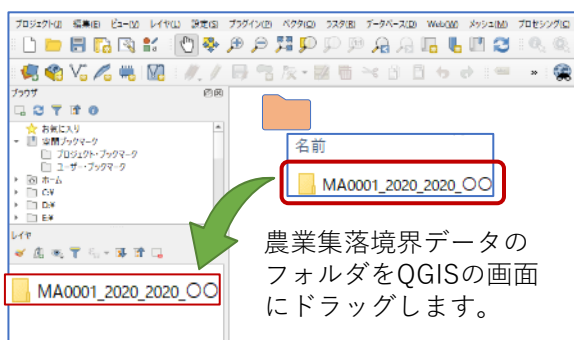
- [illegible]

例：活かすDBから「農林業経営体、調査客体」
ファイルをダウンロードして、指標部以外の項目
を削除して使用

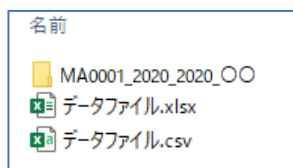
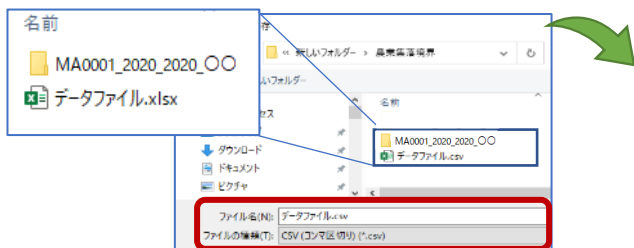
4 地図ソフト（OGIS）を起動し、農業集落境界データ、市区町村境界データを読み込みます。

- 4 地図ソフト（OGIS）を起動し、農業集落境界データ、市区町村境界データを読み込みます。

※④以降の工程の画像はイメージです。



- 5 ③で作成した「データファイル.xlsx」から「データファイル.csv」を作成します。

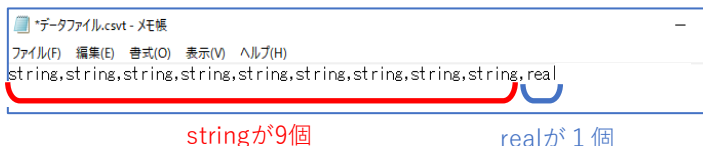


③で作成した「データファイル.xlsx」を開き、名前を付けて保存からCSVファイルを作成します。（ファイルの種類は「CSV（カンマ区切り）」を選択します。）

- 6 CSVファイルを作成します。

CSVファイルが格納されているフォルダに、CSVファイルと同じファイル名のテキストファイル（メモ帳等、拡張子は.csvt）を作成します。（[詳しくはデータ利用の手引をご覧ください。](#)）

作成するファイル データファイル.csvt



データファイル.csv

文字列
string

基本指標部のため
文字列で使用

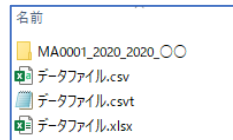
数值
real

統計データのため
数値で使用する

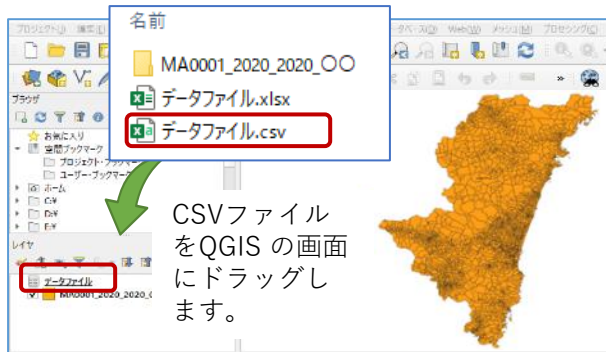
key	pref	city	lcity	room	pref_name	city_name	lcity_name	room_name	①
000000000	000	00	000	000					50328
000000000	001	00	000	000	000				58
000000000	001	01	000	000	000	000			32
000000000	001	01	001	000	000	000	000		8

stringが9個

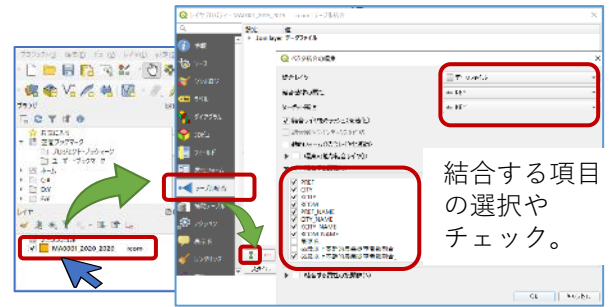
realが1個



7 データファイル（CSV形式）を読み込みます。

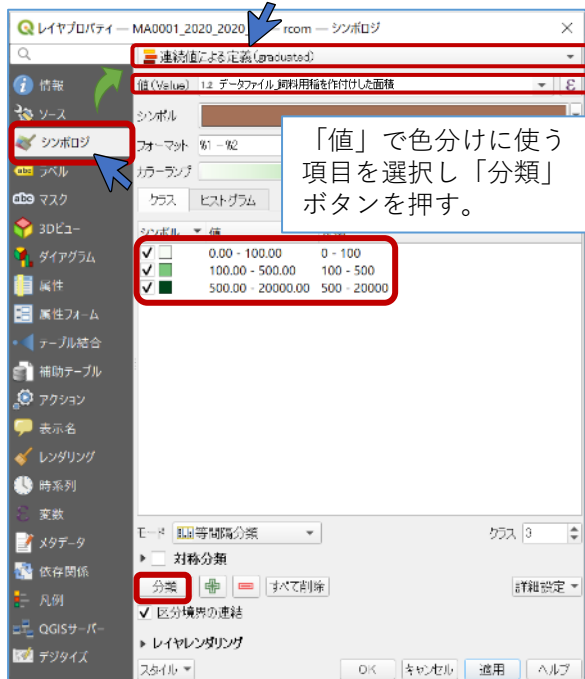


8 農業集落境界データとデータファイルを結合します。

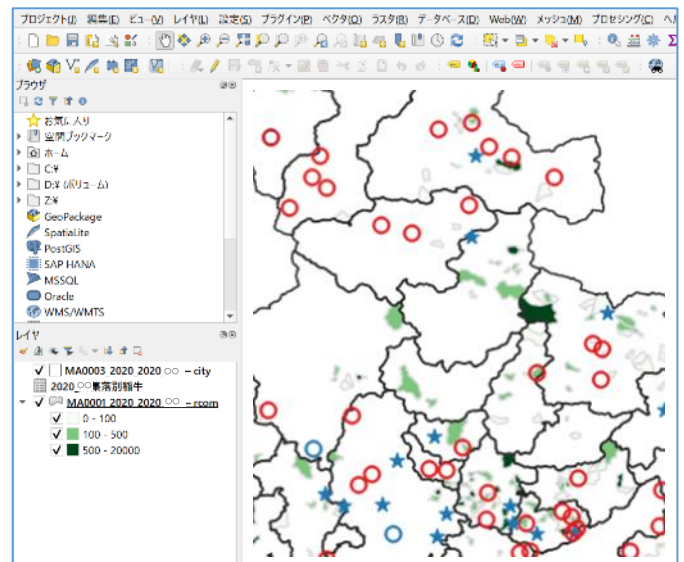


レイヤパネルの集落境界をダブルクリック、現れたレイヤプロパティの「テーブル結合」を選択し下部の「+」をクリックします。

9 地図の塗り分けをします。 「連続値による定義」を選択します。

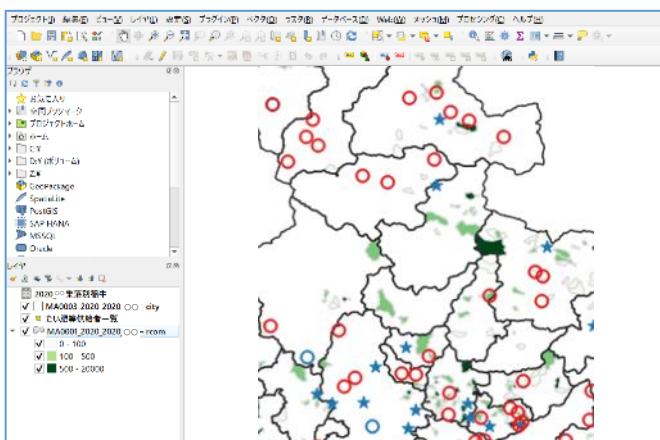


10 市区町村境界をダブルクリック→左メニューのシンボロジ→シンプルな塗りつぶし→透明な塗りつぶしの順で選択します。

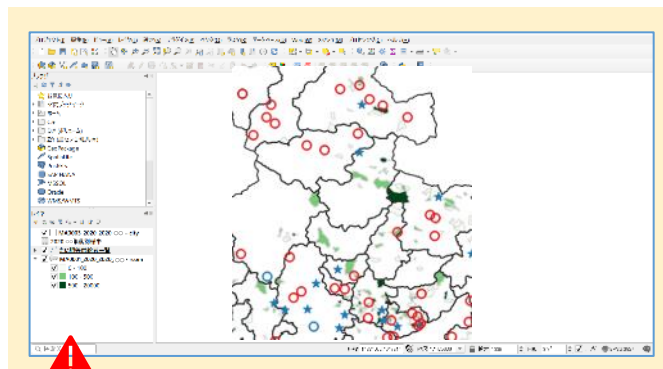


11 プロットの作成と塗り分けをします。

※プロットの作成方法については「(補足)プロットを作成しよう」をご覧ください。



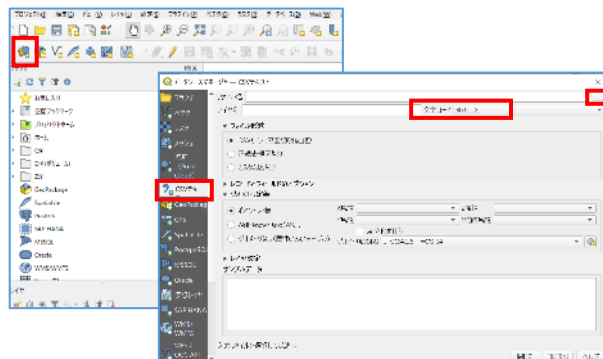
12 完成です。



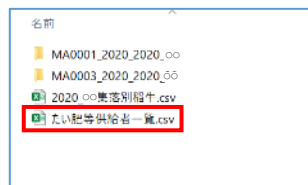
・本紙に書かれているQGISの操作は、大まかな手順を記載しています。詳しくは、「[活かすDBの利用方法](#)」に掲載の「データ利用の手引」をご参照ください。

(補足) プロットを作成しよう

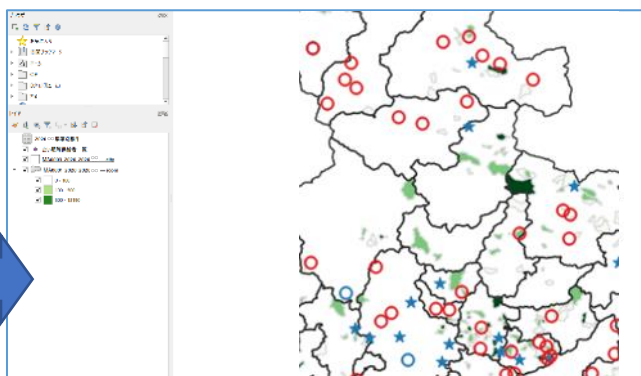
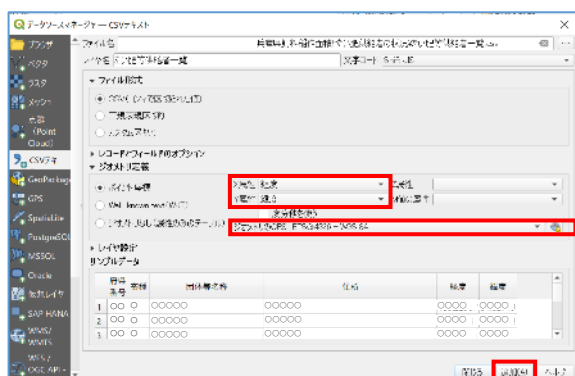
① データソースマネージャーを開きます



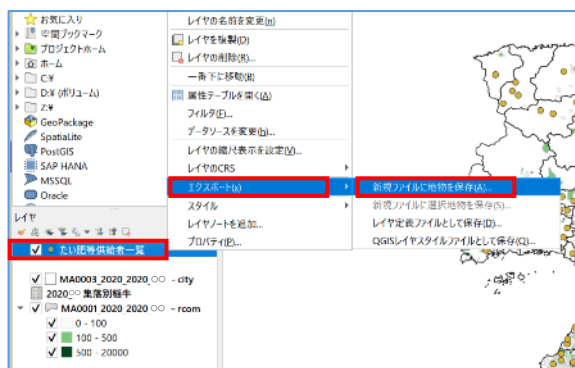
② CSVテキストを開き、文字コード「Shift_JIS」を選択、ファイル名右側の「・・・」から「たい肥等供給者一覧」を選択します



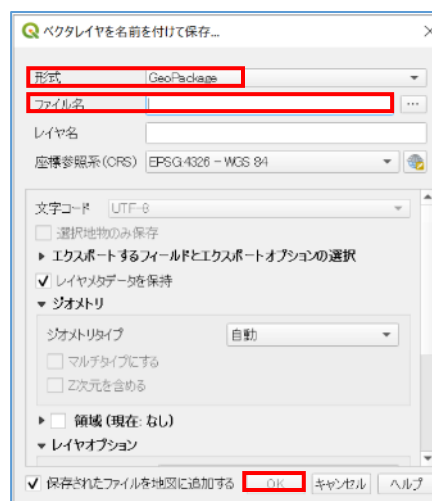
③ ジオメトリ定義のX座標を経度、Y座標を緯度に、ジオメトリのCRSを「EPSG:4326-WGS 84」に設定し追加を選択します



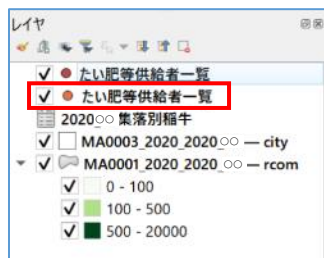
④ たい肥等供給者一覧のレイヤを右クリックし、「エクスポート」→「新規ファイルに地物を保存」を選択します



⑤ 形式が「GeoPackage」となっているか確認し、ファイル名に「たい肥等供給者一覧」と入力してOKを選択します。

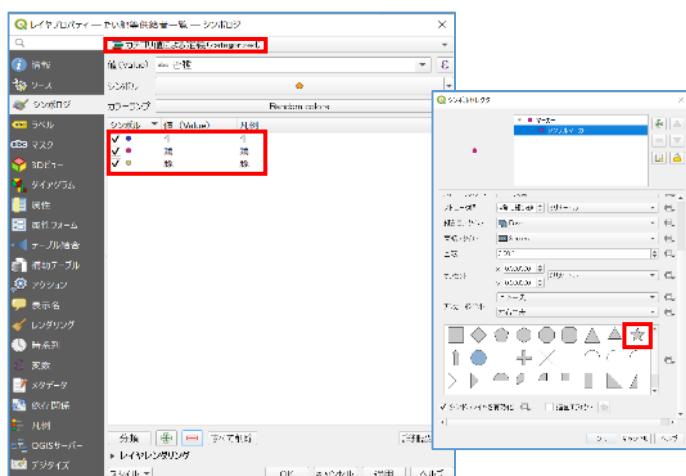


⑥ たい肥等供給者一覧のレイヤが2つ表示されているため、最初に読み込んだレイヤを削除します。



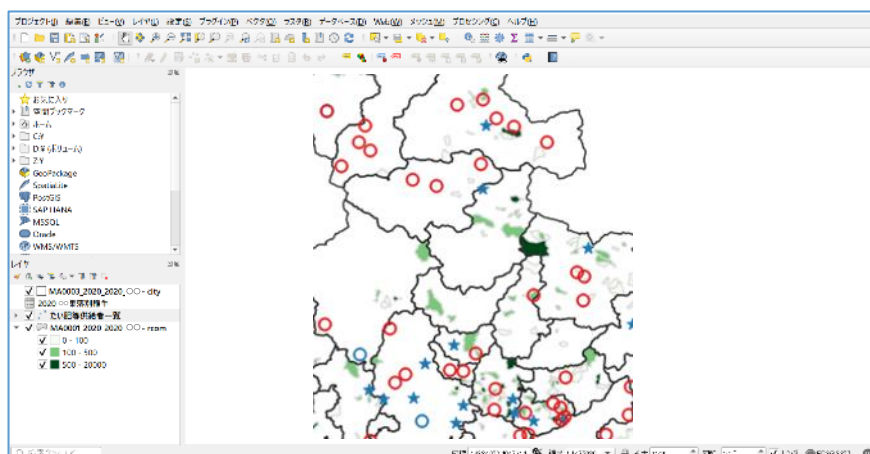
(⑤の作業を行わずにQGISを閉じると、再度開いた際にエラーとなり位置が表示されなくなります)

⑦ たい肥等供給者一覧のシンボロジを開きカテゴリ値による定義を選択します。



牛：塗りつぶし透明、ストローク赤
 鶏：塗りつぶし青、ストローク青
 (☆はシンプルマーカーから選択)
 豚：塗りつぶし透明、ストローク青

⑧ 完成です。



お問い合わせ先

農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課
 センサス統計室 農林業センサス統計第2班
 (直通：03-6744-2256)

センサス統計室では、「地域の農業
 を見て・知って・活かすDB」の利用
 に関する相談を受け付けています。
 お気軽にご相談下さい。

